

## ■ イベント関連

### ① 福助電車、福助人形展示

- ・ 堺市が所蔵する福助人形を活用して、阪堺線では福助人形を乗せた「福助電車（3両）の運行」と、歴史・文化資産の一つである山口家住宅では、「福助人形の展示」が行われた。



「福助電車の運行」と「福助人形の展示」の広報ポスター



運行記念セレモニー



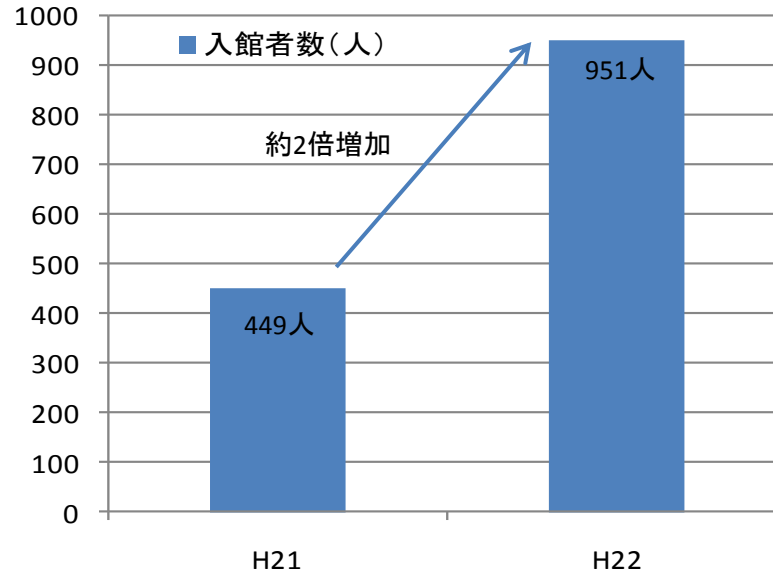
山口家住宅での福助人形展示



福助電車の外観と車内

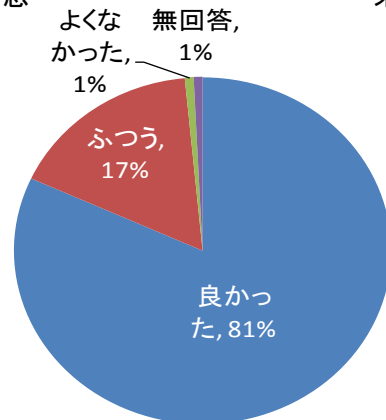
- ・ 福助人形展示により、H22年度は前年度に比べて当該期間の来場者が倍増した。  
アンケート結果についても良好であり、また交通手段についても4割が阪堺線やバス等を利用している。

福助人形展示の際に山口家住宅で行われた来場者調査の結果

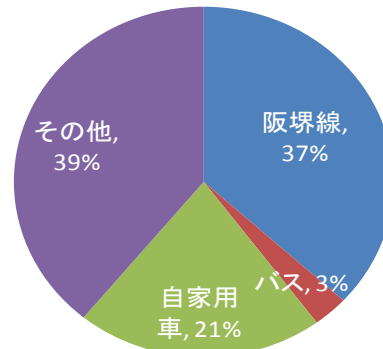


福助人形展示の開催期間  
(1月7日～17日)の入館者数

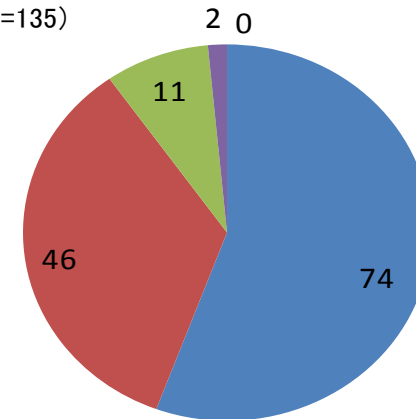
来場者の感想  
(N=133)



来場者の交通手段  
(N=133)



来場者の住まい  
(N=135)



- 堺市内
- 大阪府下
- 近畿圏
- その他
- 無回答

②阪堺線関連の主なイベント

○沿線各種イベント

日時	イベント
4月17日	浜寺公園スプリングフェスタ
5月15日	浜寺ローズカーニバル
6月12日	路面電車まつり
7月31日	堺大魚夜市
10月31日	浜寺公園オータムフェスタ
11月30日	堺区民ふれあいまつり

上記イベントにおいて、阪堺電気軌道（株）のグッズ販売と堺のチンチン電車を愛する会の会員募集を実施

○今後予定している沿線での主なイベント

「阪堺線開通100周年イベント」の開催（予定）

・概要

平成23年12月1日に阪堺線開通100周年を迎えることを記念し、阪堺線の100年の歴史についての写真・パネルでの紹介や絵画展等を実施

・実施場所

市役所本庁舎、山口家住宅、南海本線浜寺公園駅



阪堺電気軌道（株）によるグッズ販売



路面電車まつり



イベント開催の阪堺線の利用状況





平成23年7月13日

阪堺電気軌道株式会社

阪堺線開通 100 周年記念事業 第2弾!!

## 「阪堺線100年の歴史」

当社及び沿線風景の昔懐かしい写真を募集します

阪堺電気軌道（社長：山本 拓郎／本社：大阪市住吉区）では、阪堺線開通100周年記念事業第2弾として、「阪堺線100年の歴史」と題して、当社の古い駅舎や車両及び沿線風景の昔懐かしい写真を募集します。

これは、阪堺線開通100周年記念事業の一環で、お客さまに当社の歴史を振り返っていただく機会を提供し、より一層当社に愛着を持っていただくことを目的に実施いたします。

また、応募いただきました写真を元に写真展などのイベントを行います。

### ○当社及び沿線風景の昔懐かしい写真の募集について

当社の古い駅舎や車両及び沿線風景の昔懐かしい写真を募集し、応募いただいた写真を元に、「阪堺線100年の歴史」として沿線の施設などで写真展を行います。

※ 応募方法については、別紙の募集要項を参照願います。



(例) 阪堺線開通当時に恵美須町停留場を出発する電1形

■写真展の詳細については、写真募集終了後にお知らせいたします。

以上

③阪堺線関連の主なツアー（今後の予定のものも含む）

日時	イベント	主催者	概要
平成23年1月16日（日）	堺新春福めぐり	堺観光コンベンション協会	阪堺線・徒歩で阪堺線洗車体験や山口家住宅の福助展を見学するなどのツアー
1月23日（日）	南海ホークス日帰りツアー	南海国際旅行（株）	南海ホークスのOBとともに阪堺電車（恵美須町→我孫子道の車庫）に乗るツアー
2月26日（土）	知られざる堺の歴史とパワースポット巡り	南海電鉄	福助電車・バスでパワースポット（方違神社、妙國時等）を巡るツアー
3月26日（土）	「てつ」の町 堺の秘密を探れ	歴史街道・堺市	阪堺線・バスで沿線の鉄関係の施設（鉄砲館、HAMONOミュージアム等）を巡るツアー
4月13日（水）	初辰さんと住吉界限	南海電鉄	住吉東→宝泉寺→一運寺→住吉大社→休禅師林菜庵跡碑→浄光寺万代池公園（昼食）→蔵のギャラリー→閻魔地蔵尊～住吉東駅
5月21日（土） 22日（日）	阪堺電車で行くグリコツアー	江崎グリコ（株）	阿倍野の大型商業施設開業を記念して、お笑い芸人と阪堺電車で行くツアー
5月22日（日）	歴史と文化の街・堺～吾彦観音をへて「すみよっさん」へ	南海電鉄	大浜公園→宿院頓宮、本願寺堺別院、高須神社→止止呂支比賣命神社→吾彦観音寺→住吉大社→住吉公園
6月4日（土） 5日（日）	堺国際ツーデーマーチ	堺国際ツーデーマーチ実行委員会	チンチン電車とウォークを楽しむ「チンチン電車コース」と「環濠クルーズコース」の2コース
5月15日（日）	阪堺縦断ウルトラクイズ「いちびり検定」	南海電鉄	大阪ミナミ、新世界・堺などを巡り、その土地や堺に関わる知識を競うクイズ大会
5月22日（日）	堺の歴史と文化を訪ねて～チンチン電車で行く堺～	南海国際旅行（株）	春季堺文化財特別公開と合わせて堺の名所（薫主堂、大安寺、南宗寺等）を巡るツアー
9月14日（水）	初秋の阪堺線沿線名所	南海電鉄	天下茶屋公園→天神ノ森天満宮→阿部野神社→万代池公園→住吉大社
10月15日（土）	仁徳陵から江戸の町並み	南海電鉄	仁徳陵古墳、宿院頓宮、開口神社、菅原神社、ザビエル公園、堺刃物伝統産業会館、本願寺堺別院、山口家住宅など
11月9日（水）	今宮戎から上町線沿線	南海電鉄	今宮戎神社→聖天山公園（昼食）→安倍晴明神社→阿倍王子神社→晴明丘中央公園
11月23日（祝）	住吉・堺の歴史を偲んで「熊野街道から紀州街道をめぐるコース」	阪堺電軌	
平成24年2月12日（日）	「堺幕府」のあった堺周遊	南海電鉄	神明神社→内川→海船政所跡→本願寺堺別院→妙國寺→方違神社→けやき通り→仁徳陵古墳→南宗寺→少林寺など

## ■市広報を通じてのPR

- ・利用者拡大策や福助電車などを市広報番組（堺日和、堺シティレポ）や広報さかいを通じてPRを実施

⇒市民から多数問い合わせがあり、市の施策を紹介するには有効な手段



堺シティレポ



広報さかい3月号

## ■その他メディアでのPR

- ・テレビ：てっぱん、沿線を紹介する旅番組
- ・新聞誌：市の運賃政策を紹介する記事や沿線紹介の連載記事
- ・情報誌：ナッツ等の情報誌において沿線紹介記事が掲載
- ・インターネット：個人ブログ等でイベントや沿線紹介

⇒阪堺電車の魅力を紹介するには、テレビ・新聞誌等へのPRが不可欠  
特に訴求力のある福助電車は、テレビ・ネットなどで取り上げられ、大きな反響あり



福助電車運行記念セレモニー



## ■堺おもてなしチケット

- ・堺おもてなしチケットにおいて、阪堺線と37商業・観光施設等を連携

⇒阪堺線と商業・観光施設をパッケージ化することにより、観光客への訴求力を高める効果あり

## ■福助電車・山口家住宅での福助人形展示

- ・福助人形を用いて阪堺線と山口家住宅を連携

⇒阪堺線と山口家住宅の双方に相乗効果あり



## <今後の取組予定>

### ■停留場での観光案内地図の設置

- ・停留場周辺の観光施設の案内地図を設置
- ・堺市内区間の停留場毎に、その停留場と関係のある与謝野晶子の詩を選定し、地図に掲載

○レトロ車両の復元

- ・ 阪堺線を走る「モ161形」の最後に就役した電車が、この度80周年を迎えるのを記念して、路面電車黄金時代（昭和40年代）当時の姿に復元する事業を実施。
- ・ 「モ161形」は、営業運転で活躍する日本最古参の電車であり、電車だけでなく共に時代を歩んできた沿線地域を「懐かしい路面電車が走る町」として、全国にアピールする絶好の機会。
- ・ なお復元には、堺市と大阪市の沿線小学校に当時の職人技で製作された真鍮部品のツヤ出し作業を協力していただいた。
- ・ 復元したレトロ車両については、6月の路面電車まつりで除幕式などのセレモニーを開催。





■キャラクター、グッズの作成

- ・ 阪堺線開通100周年記念事業の第1弾として、「阪堺キャラクターデザイン」を公募（2月1日～25日）
- ・ 全国から寄せられた344点の応募の中から、デザインを決定

新キャラクター「ちん電くん」



選定の様子



路面電車まつりでの発表の様子



キャラクターグッズ（記念乗車券、ステッカー）

## ■阪堺線活性化推進懇話会の開催

○阪堺線の再生・活性化を図るため、行政、事業者、市民が参画し、支援策等の検証、施策の見直しや活性化に向けた取組などについて検討を行うことを目的とする。

## ■「阪堺線を未来につなぐ会（旧堺のチンチン電車を愛する会）」

○平成15年に阪堺線の存続を目的として創設されて以来、これまで民の立場から様々な活動を積極的に展開してきた「堺のチンチン電車を愛する会」について、今後、阪堺線の活性化に向けて、市民・事業者・行政の連携をより強化し、全市一体となった活動を展開していくことが求められることから、会を全市的な活動の中核を担う団体にステップアップする予定

## ■市民活動

○「RACDA大阪・堺（旧阪堺線存続検討ワーキンググループ）」

- ・ 阪堺線再生プラン提言書（平成22年2月）
- ・ 「阪堺線活性化フォーラム」の開催
  - 第1回 平成22年8月 沿線地域力を活かそう
  - 第2回 平成22年12月 沿線地域力を活かそう
  - 第3回 平成23年3月 沿線地域力を活かす“ご近所の底力”  
～地域の明日をみんなで決めるには？～
- ・ 交通基本法勉強会 平成23年1月辻元清美を講師に迎え勉強会を開催
- ・ 美化活動の実施



愛する会の活動の様子



RACDA大阪・堺主催の美化活動の様子

## ■景観まちづくり

### 【堺市景観計画（平成23年6月）】

#### ○位置付け「堺環濠都市地域：重点的に景観形成を図る地域」

- ・堺文化を特徴づけるすぐれた景観を有する地域
- ・堺の顔となる場所、多くの人々の目に触れる場所で、施策上の効果が高い地域
- ・まちづくりの進展などにより今後景観形成を進める必要がある地域 等

#### ○景観の推進方策

歴史文化資源や歴史的まちなみと調和したにぎわいの創出による魅力と活力ある景観形成を進めるため、阪堺線の活性化や文化・観光振興、業務系施設の誘導などの取組みと連携しながら、町家やまちなみ保全に向けた施策の構築、地域や地区に応じた都市計画手法、景観協定などの景観法に基づく各種手法の活用など、市民・事業者と行政の協働のもと取り組んでいきます。

## ■歴史まちづくり

### 【堺市歴史的風致維持向上計画庁内委員会】

堺環濠都市地域や百舌鳥古墳群周辺地域において、歴史文化資源を活かしたまちづくりを行うため、「歴史的風致維持向上計画」を策定。

### 【町家歴史館：清学院】

これまで重要文化財山口家住宅を町屋歴史館として開館したが、新たに登録有形文化財清学院を予定

## ■都心まちづくり

堺東駅と堺駅を二つの核とした都心地域の活性化を図るため、まちづくりの基本的な考え方を検討し、「堺市都心地域まちづくり方針」を作成する。



- ・ 市民による「鳳翔館」の再生事例や、「観濠クルーズsakai」による活動が挙げられる。
- ・ 堺七まちでは、「堺七まちひな飾りめぐり」が開催されるなど、市民主体のまちづくり・観光振興の機運や活動が萌芽しつつあると考えられる。

## 鳳翔館・堺七まち

- 鳳翔館は、5年前まで堺市に在住、現在は阪南市に住む柏木氏が、「古い家が建て替えられていくのは寂しい」という思いから町屋を借り受け、ボランティアで経営している。
- 鳳翔館では、火縄銃の実物、古地図、与謝野晶子の歌などを鑑賞することができる。
- 堺七まちでは、町屋等が連携し「堺七まちひな飾りめぐり」が開催されている。

鳳翔館の施設外観



堺七まちひな飾りめぐり



## 観濠クルーズsakai

- 内川・土居川の清掃活動が発端となって観光振興活動に結びついた事例。
- NPO法人観濠クルーズsakaiが、旧堺港から環濠にかけて定期観光船の運航を行っている。
- 同NPO法人には約20名のスタッフが在籍する他、賛助会員として地元の中小企業・商店・病院やリーガロイヤルホテル等が加盟している。

定期観光船によるクルーズ

